



王南通信



令和5年12月25日 第34号

<https://www.town.oji.nara.jp/minamigimukyo/communication/5910.html>



恒例の吹奏楽部のクリスマスコンサート。クリスマス曲やジブリの曲のメロディなど、観客を飽きさせない構成でした。学舎の仲間や太子学舎の人たちも聞きに来てくれました(^-^)

2学期 よくがんばったね 3学期 またみんなの笑顔に会えるのが楽しみです

4月に各学年がスタートして9か月がたちました。みんなそれぞれ、これまでのことを振り返ってみましょう。どんなことができましたか。できなかったことはありますか。できなかったことは、また3学期に挑戦すればいいですよ。それよりも自分ががんばったことやできたことを、「よくがんばったね」と自分で自分をほめてあげてほしいと校長先生は思っています。できたことはなぜできたのかな。どんなふうがんばったのかな、どんなところがよかったのかな、だれかのおかげなのかな、そんなことを思い出しておきましょう。きっと次の「できる」につながると思います。

1年生から4年生のみんなまで9か月間をいっしょに過ごしました。レインボー集会やわくわく集会など、4年生のみんながいろいろなことを考えて、太子学舎のみんな楽しんでできました。登校班や学級、学年で過ごしているとき、困っている人がいれば、手助けしたり先生に伝えたりと、みんなで助け合ってきました。そんなみんなの姿を見るたびに、私の心が温かくなりました。とても素敵な学校を、みんなで力を合わせてつくってくれていることをわたしは心からうれしく思います。みんな、どうもありがとう。

さあ、みんな楽しみにしていた冬休み。クリスマスもあります。楽しい分、きつとあつという間に終わってしまうことだと思います。でも、年末やお正月と、家族といっしょに過ごす時間がとても多くある休みです。みなさんのことを一番に考え、普段からお世話をしてくださっている家族です。学習をはじめいろいろなことに取り組んで忙しい毎日を送る人も多いのかな。でも、家族といっしょにゆっくりと過ごす時間も大切にしてほしいと思います。

安全に、楽しい日々を過ごしてくださいね。また新年に、素敵な笑顔で会いましょう。それではみんな、どうぞよいお年をお迎えください(^-^)

2学期の終業式で……

終業式では、太子学舎のみんなへ話したと同じ内容を伝えています。「できた」こと、できた理由を振り返ること。そして、できた自分を自分で認めてやること。自分の特徴やよさに気づき、自分自身への理解を深めることが次の人としての成長につながる。そんなことを話しました。私も、人としてこれからも成長していきたいと思えます。

この2学期を振り返ると、学舎の全員で競い合った体育大会。各学級で力と心を合わせて合唱し、有志の人たちの出演でもみんなで大いに盛り上がった文化発表会。廊下などの掃除を違う学年の人と一緒に協力して行ったこと。5、6年生が先輩と一緒に活動する部活動体験。5つの学年で過ごす畠田学舎だからこそできる、楽しいだけでなく、下の学年のことを思いやり、上の学年の人にあこがれたり。みなさんの優しさや素直さ、誠実さがたくさんたくさん発揮される場面がありました。5つの学年が一緒にいるからこそできた素敵な出来事を振り返って、この王寺南義務教育学校で児童生徒のみなさん、先生方や職員のみなさんと出会って、こんな経験をみなさんと一緒にできていることを心から感謝しています。みなさん本当にありがとう。

中庭コンサートが実現しました

きれいに整備された中庭。すてきな舞台もあり、以前からいろいろな使い方を児童生徒会を中心に考えてくれていましたが、今回、吹奏楽部のミニコンサートが実現しました。できるだけ多くの人に見てもらえるよう、2学期最後の日の下校前にコンサートが開催されました。非常に冷え込んだ日で、演奏する吹奏楽部の人たちは大変だったと思います。でも、中庭はもちろん各階の廊下や教室からも多くの人たちが観覧し、手拍子や拍手で大いに盛り上げてくれました。このチームワークが畠田学舎の最高の美点。本当に素敵な中庭コンサートでした(^-^)



王寺町やわらぎマラソンがありました

王寺町の恒例行事「やわらぎマラソン」。畠田学舎を会場として、走ることを愛する町民のみなさんが集い、それぞれのペースでマラソンを楽しむイベントです。南義務教育学校からも、さまざまなスポーツに取り組んでいる人たちのほか、個人でも多くの人たち（先生たちも(^-^))が参加しました。登りがかなりきつい難コースですが、それぞれに力を出し切って走り抜きました。また来年、それぞれの目標をもってチャレンジしてくれることでしょう。



ちも(^-^))が参加しました。登りがかなりきつい難コースですが、それぞれに力を出し切って走り抜きました。また来年、それぞれの目標をもってチャレンジしてくれることでしょう。

